

えひめ水産イノベーション地域だより

発行：公益財団法人えひめ産業振興財団
えひめ水産イノベーション創出地域
TEL 089-960-1153 FAX 089-960-1105
E-mail : sakamoto@ehime-iinet.or.jp

第2号 平成25年2月5日発行

2月となり、春になりました

2月3日は節分、翌4日は立春。16日(土)～18日(月)は、伊予路に春を告げると言われる商売繁盛・縁起開運の神様、松山市の伊豫豆比古命神社の「お椿さん」です。

宇和海の漁業にも、お椿さんにあやかっ、て、いっぱいのお福が訪れることを願っています。

”宇和海に、春よ来い、福も来い“

「えひめ水産イノベーション戦略支援プログラム」を通じて、宇和海に福が来よう取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力よろしくお願ひします。

財団のこれまでの取り組み - その2 -

海外水産市場の調査

昨年11月23日～30日の8日間、広島大学の山尾政博教授の協力をいただき、愛媛大学天野助教とともに、亀岡PD、阪本CDがタイ王国・バンコクと中国・上海において、ジェトロ、魚市場、スーパーマーケット、食品貿易会社、すり身工場、水産コンサルタント、エビ養殖場等を訪問しました。

現地では、水産物がどのように生産・加工・流通・販売されているかを把握するとともに、宇和海産水産物のアジア輸出に向けた課題を把握することを念頭に調査を行いました。

深く印象に残ったのは、貿易会社社長の「各県が物産展やフェアを実施しているが、儲かっているのは開催店舗の百貨店とイベント屋だけで、その後の消費拡大にはつながっていない」「国は農水産物の輸出を奨励しているが、関税は高いし、輸出手続きが煩雑で時間がかかり過ぎる」との言葉に輸出の難しさを感じた一方、アジア諸国の経済成長と富裕層の増加が期待される中、宇和海産の水産物の輸出参入の可能性も感じました。

[卸売業者の組合が経営するタイの魚市場の風景]



企業等訪問

戦略支援プログラムでは、出口戦略として宇和海地域の水産加工業の成長、水産業の6次産業化による地域の活性化を目指しております。

その実現に取り組むため県内の関連企業、団体を訪問し、原料入手・加工製造・流通販売の現状やアジアの水産事情等について幅広い分野にわたりお話を伺いました。

ご協力感謝申し上げます。

《訪問企業・団体》

- 24. 8.24 愛媛県漁連会宇和島支部
- 24. 8.24 愛媛県信漁連会宇和島支所
- 24.10.10 (有)加藤水産〈八幡浜市〉
- 24.10.11 朝日共販(株)〈伊方町〉
- 24.10.29 愛媛県貿易振興協会〈松山市〉
- 24.11. 2 マルトモ(株)〈伊予市〉
- 24.11. 7 (株)オカベ 〈伊予市〉
- 24.11. 8 芙蓉海運(株)貿易部〈西条市〉
- 24.11.15 ヤマキ(株) 〈伊予市〉
- 24.12.18 (株)宇和島プロジェクト〈宇和島市〉
- 25. 1.18 (株)オーシャンドリーム〈八幡浜市〉
- 25. 1.18 大島産業振興センター〈八幡浜市〉

お知らせ

《研究成果報告会の開催》

平成25年2月12日(火) 午後1時から 宇和島市丸の内3丁目の**サフライムホール**において、「平成24年度えひめ水産イノベーション創出地域研究成果報告会」を開催します。

報告内容は、愛媛大学南予水産研究センターが地域イノベーション戦略支援プログラムで行った次の6つの課題の研究成果を報告します。多数の皆様参加をお待ちしております。

- ICT等を利用した海域情報ネットワークによる赤潮・魚病対策技術の研究開発
- 環境と調和した免疫能賦活養殖技術の開発
- モデル海産魚を用いた新魚種の成長・成熟の基礎研究
- マグロ類の完全養殖を目指した基礎研究
- 流通システム等の抜本的改革による新たな水産ビジネスモデル構築に関する研究
- 人材育成プログラムの開発及び実施

《25年度人材育成セミナーの受講者募集》

宇和海における水産業の6次産業化を担う人材を育成するため、平成25年4月～翌年3月までの間、月1回の人材育成講座を開設します。募集人員は20名程度。

次回3号でも詳しくお知らせします。